

昭和56年春の全国交通安全運動が実施されます 交通ルールを親子で語ろう

昭和56年4月6日～4月15日の10日間

新入学(園)児童をお持ちのご家庭では、期待に胸をふくらませながら、入学の準備になにかとお忙しいことでしょう。

お子さんの入学にあたって忘れてはならないことの一つに交通安全ルールのしつけがあります。

比較的家の近所で遊んでいた子供たちも学校に通うようになると、その行き帰りを初め、新しい友だちもできるなどして行動範囲はだいに広がっていきます。

ここで気を付けなければならぬのが交通安全事故です。毎年、この時期は、新入学(園)児童の交通安全事故が目立ちます。入学の前に正しい交通ルールについて、いま一度親子でよく話しましょう。

月瀧村では、交通安全事故防止のための対策を強化するため、白根警察署の協力を得て、無謀運転の追放、飲酒運転の追放にとりくむ計画です。皆様のご協力をお願いします。



4月6日 4月15日
春の全国交通安全運動

歩行者、特に子供の交通安全事故防止
自転車の安全利用の促進
無謀運転の追放

飛び出しによる事故が多い子供の交通安全事故で一番多いのはいわゆる「飛び出し」です。昭和54年の幼児と小学生の交通事故のうち66パーセント、つまり全体の七割近くが路地から大通りなどへの「飛び出し」が原因となっていました。

小学生の「飛び出し」による事故は低学年ほど多くなっています。子供の行動特性を知ろう

子供を交通事故から守るには、まず子供の行動の特性をよく知ることが大切です。

▼子供は一つのことには気が向くこと、まわりのものが目に入らなくなるとのこと、単純にしか理解できない。いつも、黄色い小旗をあげると車は必ず止まると思っている。こみかちです。

▼「あぶないよ」とか「注意しなさいよ」という抽象的な言葉だけでは、具体的な行動と結びつけて理解することがむずかしい。

健康な時こそ「献血」を!! 冬場対策 「感謝献血」ご協力ありがとうございました 2月7日(土) 実施済

- 人のためには心の贈りもの!! 自身のためには、いつ災難に合うかわからず...:そなえてよいことに「献血」出来るというところで、健康状態も知る事が出来、結果も通知されて来る!!
- 今回は、学生さんが二人、それも満16才を迎えられた方の姿、ご家族揃っての姿がみられました。一家族から一年一回ぜひ参加をお願いしたいものです。ここに名前を掲げご協力いただいたことに感謝の意を表します。
- ◎大別当
- 小武内明浩 深沢 幸雄
 - 斎藤 昭司 小林 ミイ
 - 斎藤登美子 小湊 忠八
 - 斎藤 昭彦 曾屋 弘
 - 伊藤 正美
- ◎月 瀧
- ◎広野 誠 星野 隆
 - 笹川 秋子 星野千枝子
 - 小林 光代 川又 満子
 - 山崎 庸盛 竹内ミドリ
 - 山崎マチ子 矢挽 タマ
 - 鷲尾 良宜 登石 花子
 - 金子 葉子 熊谷 三作
 - ◎金子 秀章 関根 久男
 - 小林 工 関根 栄子
 - 高橋 政義 登石 ミヨ
 - 関本 昇 関根 ミヨ
 - 本間 正子 登石 芳子
- ◎東長島
- 中村 キイ 丸山 武治
 - ◎木 滑 大橋 章子
 - 高木 宏祐 市島 重秋
 - 岩本 巧 高木 里美
 - 間島 和代 間島 幸雄
 - 高木 喜一
- ◎釣 寄
- 萩原 松蔵 高木 悦子
 - 曾山 佳夫 萩原セツ子
- ◎上曲通
- 児玉 秀雄 藤村 良平
 - 大関 タツ 藤村 征一
 - 佐藤六二郎 阿部 茂雄
 - 佐藤 文子 和平 チイ
 - 野沢 文江 和平 晃
 - 小沢 繁
- ◎西 萱場
- 田辺 スミ 服部 クニ
 - 田辺 徳和 関本 武
- ◎山坂 仁
- 田中 テフ 野内 ミヨ
 - 田中 善弥 滝沢 末二
 - 田中 鏡子 中島 晴彦
 - 田中 志保 棚橋 章好
 - 藤原 幸子 棚橋 明美
 - 狩谷 洋子 星野 智子
 - 半田 敏栄 金井 朝子
 - 半田 貞子 羽入 スギ
 - 小武内幸子 中村 信男
- ◎下曲通
- 藤村 良平
 - 藤村 征一
 - 阿部 茂雄
 - 和平 チイ
 - 和平 晃



血液型別	
A型	51名
B型	25名
O型	23名
AB型	10名
不適格者	2名
計	111名

※次回回は5月8日(金)の予定です。

◎役場職員は十七名の協力をいただきましたが氏名を省略し◎のみ掲載します。◎上村 和子

◎村外者

- 大谷 良弘 小山フミ子
- 後藤 ナカ
- 中島 吉雄 中川 博美
- 鈴木由美子 滝沢 紀浩

◎釣 寄新

- 曾山ミサヲ 曾山 陽子

四月一日より 緊急電話「一一九番」 消防本部へ集約

火事救急等災害通報電話「一一九番」が四月一日から消防本部(白根)に集約されます。

今まで月瀧局、新飯田局管内のみなさんは、六分署、小須戸局管内のみなさんは小須戸分署にそれぞれ通報して頂きましたが、四月一日から消防本部(白根)に通報して頂くことになりました。

一一九番が集約されますことにより各指令業務の円滑化と、より効果的消防活動が図られることになりました。

(災害通報は、あわてず ゆっくり、ハッキリと)「火事」か「救急」かハッキリ言って下さい。

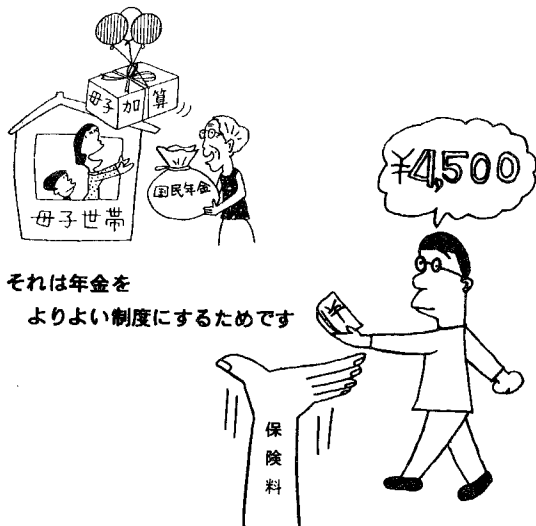
○災害発生場所を教えてください。

○市町村名、町名(部落名)、世帯主、近くの目標となるもの、場所の確認が取れた時点で消防車(救急車)は現場に向けて出動しております。

○何が燃えているか、又どんな状態か。

○通報者の氏名、以上のような事柄をお聞きますので、あとは消防職員の質問にハッキリと答えて下さい。

なぜ、保険料は 4月から上がるのですか



それは年金を
よりよい制度にするためです

国民年金の定額保険料は、今年の四月から一月につき四五〇〇円に改められます。

国民年金は昨年の法改正により夫婦がともに付加保険料に加入して二十五年間かけた場合、月額九四、〇〇〇円の老齢年金が支給されるようになります。

また、十年年金は月額二六、五〇〇円、五年年金は月額二二、六〇〇円に引き上げられました。

さらに、母子、準母子年金に月額一五、〇〇〇円の加算制度を創設するなどの改善が行われました。

このように、一段と頼れる年金になった国民年金を将来も維持していくためには、一月約八、〇〇〇円程度の保険料が必要だと計算されています。

だれしも「少くない負担で多くの年金」を望むことでしょうか、いかに充実した制度となってもその要付けとなる年金財政が確立していなければ、それこそ「絵にかいたモチ」に終わってしまいます。

そのような事態にならないために、私たちは給付に見合う保険料の負担を行う必要があります。

今後、加入者のみなさんの負担は大きくなりますが、国民年金をよりよい制度にするためのやむを得ない措置ですので、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

散乱場所の多いところ

一般道路とその周辺が最も多いようです。この事実を、ドライバ―や観光客が通りすがりに投げ捨てる空き缶等はいかに多いか、旅の恥はかきすて...といった心境があります。

改めたい—自分勝手な行動 “あとは野となれ山となれ”



一般道路といえ、その近くに住む人たちにとって日常生活の「場」そのものです。ドライバ―のみなさんにとっては「気軽に空き缶ボーイ」という行為も、そこで日々の暮らしを送る人たちにしてみれば、生活の環境汚染に外なりません。いわば「通り魔汚染」ともいえます。

また、ハイキング、登山道は、四季折々みんなが自然を楽しむ憩いの場所です。前々から計画を立て、家族づれで、友だちと、職場の同僚と...:数少ないチャンスをやりくりしながら、胸をふくませて出かけることが多いことでしょう。それが、いたるところ空き缶では...「あとは野となれ山となれ」という、自分勝手な行動が、自然を、そしてハイカーの心を傷つけているのです。

一人一人が、心したいものです。

※空き缶等の投げ捨ては、軽犯罪法、自然公園法、廃棄物処理法、道路交通法などの刑罰規定に触れる行為であることをご存じですか。